



歳出を目的別で分けると…

**民生費** 21億2,577万円  
 少子・高齢社会に対応するための児童・老人福祉や障害者福祉に使われる経費  
**土木費** 16億3,726万6千円  
 道路、水路、公園整備などに使われる経費  
**総務費** 11億588万1千円  
 総務管理、税の課税・収納、戸籍・住民基本台帳関係、選挙などのための経費

**公債費** 10億5,223万5千円  
 町の借金である町債などの元利金の返済に係る経費  
**衛生費** 10億3,499万1千円  
 健康診断などの保健関係、ごみ収集などの環境保全のための経費  
**教育費** 6億8,230万6千円  
 学校教育や生涯学習・文化振興などに使われる経費

**消防費** 4億641万1千円  
 伊予消防等事務組合に対する町の負担金や災害対策に係る活動などに使われる経費  
**農林水産業費** 2億9,971万4千円  
 農業の振興、土地改良事業などに使われる経費  
**議会費** 1億2,056万円  
 議員の報酬など議会の活動・運営のための経費

**商工費** 3,188万7千円  
 商工業の振興などに使われる経費  
**予備費** 972万円  
**諸支出金** 607万3千円  
**災害復旧費** 1千円

使うお金（歳出）

歳出は、性質別に見ると義務的経費・投資的経費・その他の経費に大きく分けることができます。義務的経費は、町の運営のため必ず支払わなければならない費用です。投資的経費は、施設建設・道路改良などのために使う費用で、生活水準の向上に役立つものです。

平成19年度は、「第5次松前町行政改革大綱」に基づき事務事業全般にわたって行政改革に取り組み、健全な財政運営に努めていますが、庁舎東地区関連道路整備事業費に係る普通建設事業費及び国営土地改良事業償還金などが大きく増加しています。

義務的経費

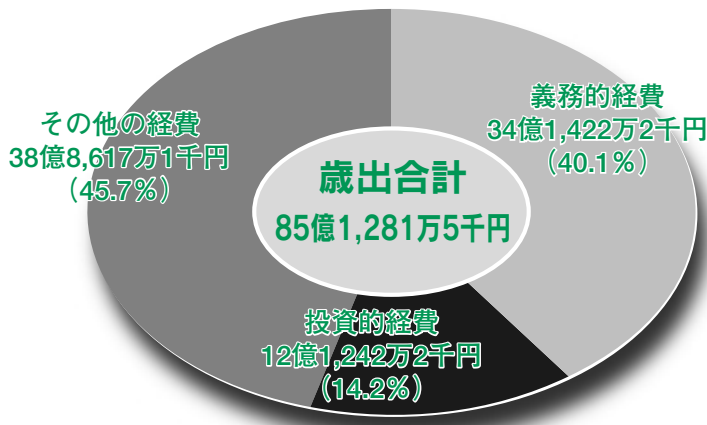
( )は前年度対比

人件費	16億5,434万9千円	( 0.3%)
公債費	10億5,223万5千円	( 3.3%)
扶助費	7億763万8千円	( 2.7%)

投資的経費

( )は前年度対比

普通建設事業費	12億1,242万1千円	( 120.1%)
災害復旧事業費	1千円	( 0.0%)



その他の経費

( )は前年度対比

物件費	13億5,306万4千円	( 6.5%)
補助費等	13億1,058万9千円	( 14.5%)
繰出金	11億668万8千円	( 2.6%)
維持補修費	9,161万2千円	(△ 14.5%)
投資及び出資金・貸付金	1,170万8千円	(△ 93.1%)
予備費	972万円	( 1.3%)
積立金	279万円	( 247.9%)